

学習発表会を評価する

— 自己評価カードの活用例 —



熊本県菊池郡菊陽町立
武蔵ヶ丘北小学校校長

金森 義行
かなもり よしゆき

一 学習発表会と評価

今般の国語教科書では、学習活動の区切りやまとめとして、学習発表会が行われるという設定が多くなっている。四年生を例にとると、「本の世界を広げよう」「心に残る発表会をしよう」「伝えよう、わたしたちの心」「自分で選んで」などである。学習発表会は、多くの場合、子どもたちが調査、研究、作成した「もの」や「こと」の発表であり、「話す・聞く」「書く」「読む」のすべての領域を含んでおり、学習の総括として意義のある活動である。また、そこで身につけた能力は、総合的な学習の時間や各教科の学習に直接的に生きて働く力となる。では、今、学習発表会の様子と評価の課題はどのような

な点にあるのだろうか。

●発表会に至るまでの、調査、研究、作品作りなどの過程における一人ひとりの子どもの意欲・態度の評価が軽視されている。

●発表会において、発表者自身が自分の伝えたいことを十分に理解していなかったり、発表の仕方の工夫がなされていないかったりする。子どもたちの一人ひとりに発表会を通してどのような国語の能力を身につけたのか自覚させ、評価する必要がある。

●発表会には、発表者があり、聞き手がいる。発表者の指導は丁寧に行われるが、聞き手の指導は比重が軽くなっている場合がある。発表のしっぱなしの場合すらある。発表会は、発表者と聞き手の相互交流の活動である。発表者と聞き手の気持ちや感想・意見がどのように通じ合っているのか、的確に評価することが重要である。

二 実践例

○単元名 本の世界を広げよう「白いぼうし」、「ポスターをかくて、作品をしようかいしょう」(四年)
○めあて(一部略)
・自分の好きな本を選び、そのよさを友達に伝えようという気持ちを持つことができる。

(いつ) ・ポスター作りが終了したとき
・ポスターの発表会が終了したとき

(だれが) 一人ひとりの子ども自身か
(何を) ・ポスターを書いたときの工夫や感想など
・ポスター発表会のために留意した点や感想、意見など(どうやって) 自己評価カードで

○自己評価カードの観点

- ・紹介したい本のポスターを書くときのポイントをおさえているか。
- ・自分なりの工夫をしてポスターを書いているか。
- ・ポスターを書き終えて、どのような感想を持っているか。
- ・発表するときどのようなことに気をつけていたのか。
- ・発表してどのような感想を持ったか。
- ・発表を聞いて、友達はどのような感想や意見を持ったか。(相互評価)

・聞き手の立場として、どのようなことに気をつけて友達の発表を聞いたのか。

- ・発表を聞いて自分なりの感想を持つことができたか。
- ・教師の感想や励ましの言葉を記入する。

○ポスターの実例

(A君のめあて) 「王様魔法ゲーム」の友達が読みたいくなるようなポスターを作る。

・友達が読みたいくなるような作品紹介のポスターを書き、ポスターの発表を行うことができる。

○指導計画(一部略)

・友達に紹介したい本のポスターを書く。

第一時 自分のめあてを決め、ポスターの構想を教科書をもとに考える。

第二時・第三時 ポスターを書き、自己評価カードに記入する。

・ポスター発表会(ポスターセッション)をする。

第一時 自分のめあてを決め、発表会をする。

第二時 発表会をする。自己評価カードに記入する。

○評価計画(一部略)(自己評価カードの活用)

(評価基準)

- ・自分の好きな本を読み、伝えたい気持ちを持つ。
- ・自分なりに工夫してポスターを書いている。
- ・自分の伝えたいことを話し、友達の伝えたいことを聞き、感想を持つ。

(何のために) 一人ひとりの子どもが、自分のめあてにそって、ポスター作り及び発表会にどのように取り組むか、「意欲・態度」「書く」「話す」「聞く」面を身につけ、どのような感想を持ったか的確に把握し、励ますとともに、指導のあり方を反省し、今後に生かす。



A君の書いたポスター

(ポスターの考察)

このポスターには、本を紹介するために必要な本の名前、あらすじ、おもしろいところ、登場人物などが書かれている。また、内容についても「王様を見つけたことができるか。」など聞き手である友達に読んでもらいたい、伝えたいための工夫が見られる。このポスターは「書く」「読む」面の適切な評価資料となる。しかし、ポスターだけでは、ポスター作成過程の子どもの自身の関心・意欲・態度や感想、達成感を評価することはできない。そこで、自己評価カードを活用することにした。

ポスター発表会 をしよう！ 4年 組名前()	
ポスターについて	自分の感想
発表するとき ① うれしかったこと ② 楽しかったこと (できたものやできなかったもの)	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
自分のポスター ① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
友達からの感想 ① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
友達の発表の何 ① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
友達の発表を見て ① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
先生から一言	

自己評価カードの実際

(自己評価カードの考察)

①・④について この自己評価の結果ばかりでなく、発表のときの様子を教師の観察やメモと照応すること、より客観性が保たれる。

ポスターを書いて 本をしょうかいしよう！ 4年 組名前()	
ポスターについて	自分の感想
しょうかいしたい ① 内容を書きました ② 内容を書きました (できたものやできなかったもの)	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
ポスターの文や絵 ① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
ポスターを書くとき ① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
ポスターを書くとき ① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき	① 発表のとき ② 発表のとき ③ 発表のとき ④ 発表のとき ⑤ 発表のとき
先生から一言	

自己評価カードの実際

(カードの考察)

①について 本を紹介するための必要事項をポスターに書き込めたことは、本人の評価のとおりである。しかし、その他の欄の記入がないことは、教科書のポスター例から出ていないことを意味する。指導の反省材料である。

②・③について ポスターを書くときの本人の気持ちや工夫したところがよく伝わってくる。しっかり評価し、賞賛して本人に自信と意欲をつけさせるようにした。

④について ポスターを作成する過程で、どこが難しかったか、どこを工夫したかがよくわかる。一生懸命だった様子がうかがえる。ポスター作成に意欲的に取り

②について 発表者の緊張感と安堵感が書かれている。発表の成功と喜びを賞賛して、意欲を高めた。

③・⑤について 発表を通して、発表者と聞き手の気持ちや感想・意見がどのように通じ合ったかが評価できた。発表会の評価として、大切にしたい観点である。自分が選んだ本のよさをうまく伝え、友達に読んでもらえるBさんは、評価基準を十分に満たしている。

三 終わりに

「自分で選んで」が今号の特集である。四年生で考えれば、「ごんぎつね」のパンフレットを作ったり、読書発表会をしたり、「動く絵の不思議」のクイズ大会をしたりなど、多彩な学習発表会が展開されるであろう。学習発表会に至る過程、発表会での発表者と聞き手としての両面を評価の対象としながら、一人ひとりの子どものよさを認め、励ます評価でありたいものである。また、評価結果をもとに指導の反省を行うことで授業の工夫、改善が進むことは、間違いない事実である。そのことが、国語科の確かな力を育成する基盤となると考える。